



平成27年度 国立研究開発法人森林総合研究所 公開講演会 「木材利用がきり拓く未来」開催のお知らせ

ポイント

- ・ 私たちの木材利用の歴史をふり返し、これからの利用拡大を考える公開講演会を開催します
- ・ 開発が進められている直交集成板（CLT）の実用化の現状や建築サイドから見た木材利用の課題が理解できます

概要

国立研究開発法人森林総合研究所は、林野庁後援で、下記のとおり公開講演会を開催します。

記

1. 日 時：平成27年10月15日（木） 13:30～16:40
2. 場 所：ヤクルトホール（東京都港区東新橋 1-1-19 ヤクルト本社ビル）
3. 内 容：別紙の通り
4. 参加費：無料

問い合わせ先など

研究推進責任者：森林総合研究所 研究コーディネータ 小泉透
広報担当者：森林総合研究所 企画部 広報普及科長 宮本基杖
TEL：029-829-8135 FAX：029-873-0844

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

背景・経緯

日本には古くから「木の文化」があり、私たちはさまざまな所に木材を使ってきました。現在では、住宅のみならず体育館や競技場といった大型建築物を木材で建てるできるようになっています。また、木材は大気中の二酸化炭素（CO₂）を炭素として固定した材料であり、加工時のエネルギー消費が金属材料等に比べて極めて少ないことから、地球温暖化対策にも有効です。

そこで、私たちの木材利用の歴史を振り返りながら、木材の利用を拡大するためにどのようなことが必要なのかを考える、公開講演会「木材利用がきり拓く未来」を企画いたしました。

内容・意義

（内容）

日本人がどのように木材を使ってきたか、日本における木材利用の歴史を振り返り、現在国策として開発が進められている直交集成板（CLT）の実用化の現状や建築サイドから見た木材利用の課題について講演を行い、これから日本人が木材とどのように関わっていけばよいか、「木材利用がきり拓く未来」について展望します。

（意義）

環境に優しく、豊かな暮らしを今後も継続して実現していくためには、あらゆる場面で木材を利用していくことの重要性を一般の方々や関連団体の方々に理解していただき、木材利用技術開発のための産学官民連携強化を図ります。

プログラム、問い合わせ先、アクセスについては、別紙チラシを参照願います。

支所の公開講演会

北海道支所	10月15日（木）13:30-16:00	札幌市男女共同参画センター 「樹木に迫る-成長・繁殖・変化-」
東北支所	10月27日（火）12:55-16:40	盛岡市 プラザおでって 公開講演会
関西支所	10月16日（金）13:30-16:30	龍谷大学響都ホール校友会館 「森の恵みと土のチカラ ～ささえ合う森と土～」
四国支所	11月19日（木）13:00-16:50	高知会館「飛鳥」 「四国の森林管理の未来を考えるー広大な人工林の今後の取り扱いをめぐってー」
九州支所	10月15日（木）13:30-16:30	くまもと県民交流館パレア 「ナラ枯れ研究と低密度植栽実践研究」
多摩森林科学園	10月17日（土）13:15-15:00	多摩森林科学園・森の科学館 「くらしに身近な木質バイオマス～木製トレイから空気浄化剤まで～」